

令和6年度 こどもに対するしつけと体罰に関するアンケート 実施報告

1 目的

令和元年の「児童虐待の防止等に関する法律」改正により親権者による体罰の禁止が明文化されたことに伴い、令和2年度、令和4年度と横浜市民を対象に、こどもに対するしつけと体罰に関するアンケートを実施してきました。

今回のアンケート調査では、経年比較を行うとともに、こどもの権利の認知度とこどもの意見を聴くことの意義についての項目を追記、さらには、こども本人を対象とした調査も実施しました。これらの調査結果は、体罰によらない子育てを推進するための施策等を検討するにあたり、活用していきます。

2 実施時期

(1) 大人向け調査

令和6年10月18日(金)から12月20日(金)

(2) こども向け調査

令和6年12月9日(月)から令和7年1月31日(金)

3 対象調査

(1) 大人向け調査

横浜市民

(2) こども向け調査

横浜市立小学校、中学校の児童・生徒(小学4年生から中学3年生)

4 方法

(1) 大人向け調査

二次元コードから web アンケートフォームにアクセスし、性別、年齢及び以下の質問に回答。

【質問項目】

質問 1 しつけのために、こどもに体罰を行うことに対してどのように考えますか。

質問 2 こどもを次の選択項目のように「たたく」ことについて、しつけのために、必要だと思うものはどれですか。

質問 3 なぜ、しつけのために、こどもをたたく必要があると思いますか。

質問 4 注意しても言うことを聞かないこどもに対して、しつけのために、必要だと思う行為は、次のうちどれですか。

質問 5 育児をしているなかで、こどもをたたいたことがありますか。

質問 6 体罰がこどもに与える影響について、次の中で知っていることはありますか。

質問 7 「体罰の禁止」が法律に定められたことを知っていますか。

質問 8 「こどもの権利」について知っていますか。

質問 9 こどもの意見を聴くことについてどのように考えますか。

質問 10 横浜市こども青少年局こどもの権利擁護課が配信している動画について、ご覧になったものはありますか。

質問 11 動画をご覧になった方はぜひ感想をお聞かせください。

質問 12 横浜市の児童虐待防止施策へのご意見等ございましたらお聞かせください。

(2) こども向け調査

各教室に案内チラシを掲示し、GIGA 端末から二次元コードを読み込んで web アンケートフォームにアクセスし、以下の質問に回答。

【質問項目】

質問 1 「こどもの権利」を知っていますか。

質問 2 自分の意見を、お父さん、お母さん、先生など、身近な大人にきいてもらっていると思いますか。

質問 3 しつけのために、おうちの大人の人が、こどもに次のようなことをすることについて、どのように考えますか。

質問 4 体罰やこどもの権利について、ご意見があれば教えてください。

※大人向け調査の質問8、9、こども向け調査の質問項目は、公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが実施した、以下の調査を参考に作成。

[2021年版 子どもに対するしつけのための体罰等の意識・実態調査結果報告書 子どもへの体や心を傷つける罰のない社会を目指して](#)

5 周知

(1) 大人向け調査

ア 10月20日(日)「第16回子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー2024」のゴール会場ブースで
チラシ配布

イ 10月24日(木)横浜市 HP に掲載

ウ 10月25日(金)、11月14日(木)横浜市公式 LINE/X にて配信

エ 11月26日(火)横浜市こども虐待防止市民サポーター講座(基礎編)で周知

オ 12月5日(木)パマトコにて配信

(2) こども向け調査

各学校の教室にチラシの掲示を依頼

6 集計結果と分析

(1) 大人向け調査

回答者は2,860人で、男性413人、女性2,399人だった。年齢別では30歳代1,455人と約半数を占めていた。

令和2年度の調査結果(令和2年度第3回ヨコハマeアンケート 回答者1,262人)、令和4年度の調査結果(令和4年度 子どもに対するしつけと体罰に関するアンケート 回答者1,324人)と比較すると、**体罰を容認しない割合**(質問1に「決してすべきではない」と回答した人の割合)は**3.9ポイント増加**(62.5%から66.4%)した。

「しつけのために、こどもをたたく理由」について、「その場で問題行動をすぐにやめさせるため」や「ロで言うだけではこどもが理解しないから」こどもをたたく必要があると回答している人の割合は、これまでの結果と同様、他の項目に比べ高くなっていた。こどもをたたいた経験の有無については、令和4年度と比較すると、令和6年度ではたたいたことがない割合が約20ポイント増加し、約半数が育児でこどもをたたいたことがないと回答していた。また、「体罰の禁止」が法律に定められたことについて、「知っている」の割合が減少し、「知らない」の割合が増加している。「こどもの権利」の認知度については、8割以上が知っていると回答していた。こどもの意見を聴くことについては、「こどもの意見を聴き、尊重することは大切だが、状況により出

来ない場合があるのは仕方がない」と「こどもの意見を聴き、それに基づいてこどもにとって最も良いことをこどもと一緒に判断すべきである」がそれぞれ約半数と別れる結果となった。

ア 回答者集計

回答者:2,860人

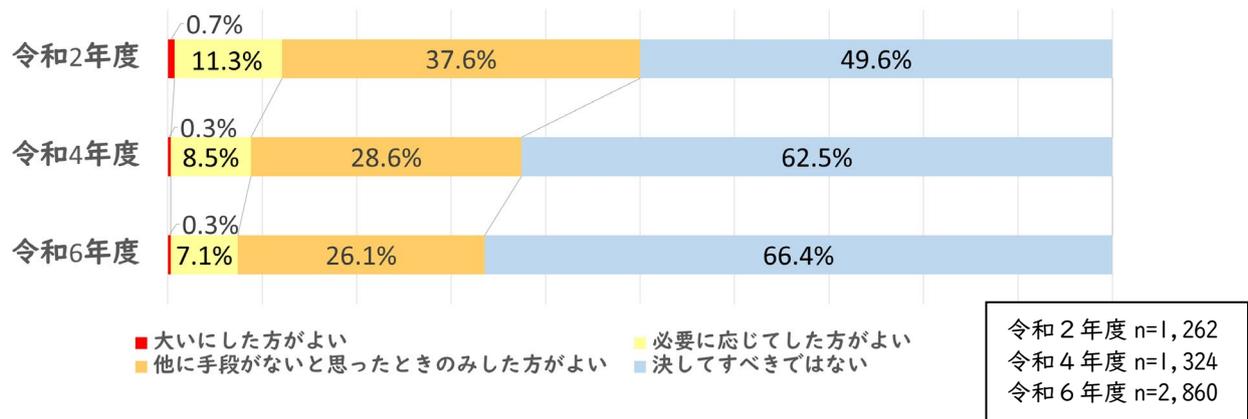
年代別・性別の回答者数/回答率

	10歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	80歳以上	計
男性	1 (0.2%)	33 (8.0%)	138 (33.4%)	123 (29.8%)	63 (15.3%)	33 (8.0%)	17 (4.1%)	5 (1.2%)	413 (100.0%)
女性	0 (0.0%)	274 (11.4%)	1296 (54.0%)	505 (21.1%)	218 (9.1%)	82 (3.4%)	20 (0.8%)	4 (0.2%)	2,399 (100.0%)
回答したくない	2 (4.2%)	5 (10.4%)	21 (43.8%)	13 (27.1%)	5 (10.4%)	1 (2.1%)	0 (0.0%)	1 (2.1%)	48 (100.0%)
計	3 (0.1%)	312 (10.9%)	1455 (50.9%)	641 (22.4%)	286 (10.0%)	116 (4.1%)	37 (1.3%)	10 (0.3%)	2,860 (100.0%)

イ 各質問の調査結果

質問1 しつけのために、こどもに体罰を行うことに対してどのように考えますか。(単一選択)

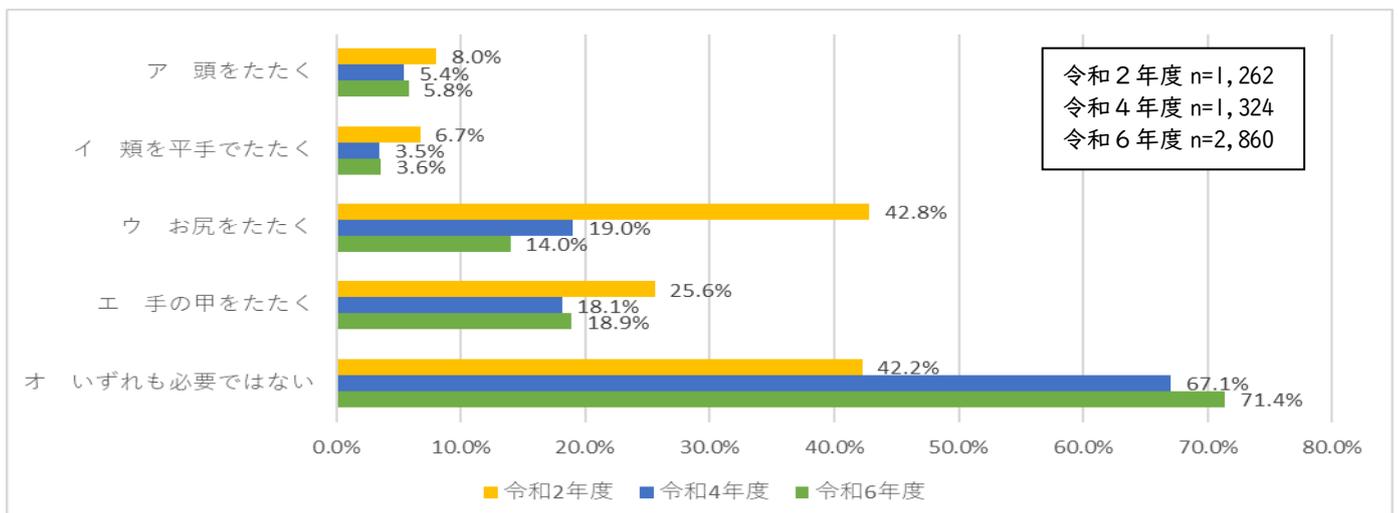
令和4年度に比べ、令和6年度では「決してすべきではない」の割合が3.9ポイント上昇している。



質問2 子どもを次の選択項目のように「たたく」ことについて、しつけのために、必要だと思うものはどれですか。

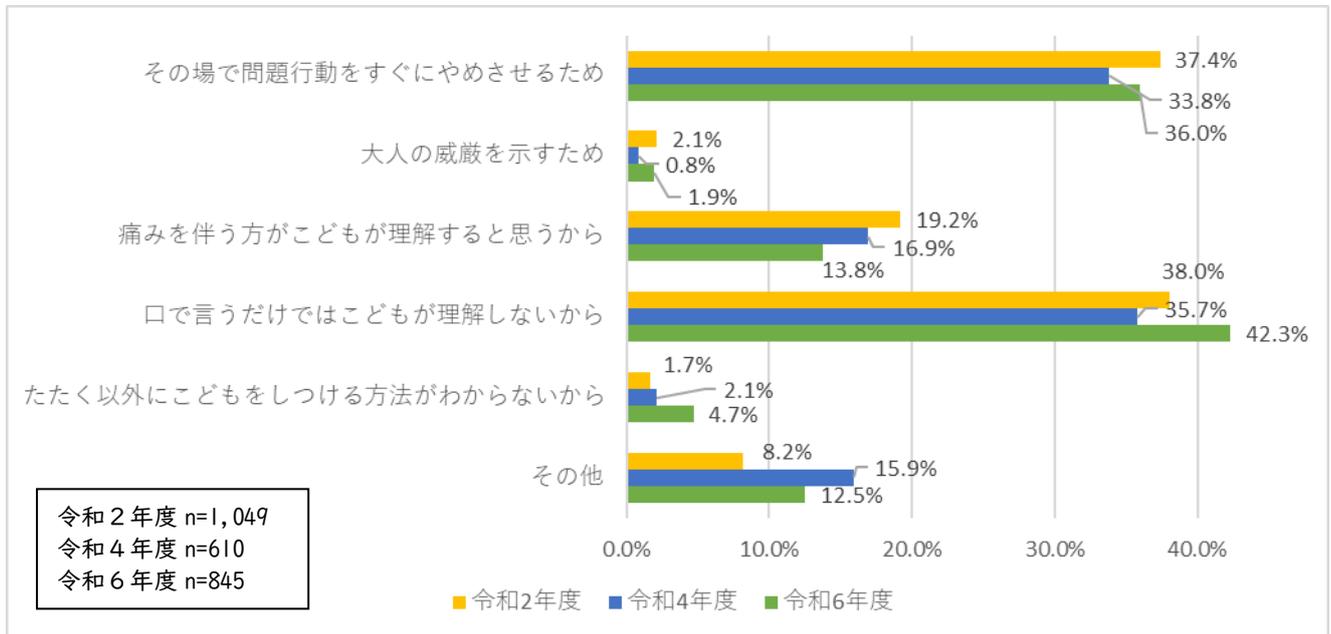
(複数選択可)

令和4年度と比較すると、「お尻をたたく」が5.0ポイント減少し、「いずれも必要でない」が4.3ポイント増加していた。



質問3 質問2でア～エと回答した方にお聞きます。なぜ、しつけのために、こどもをたたく必要があると思いますか。(複数選択可)

しつけでたたくことが必要な理由として、「口で言うだけではこどもが理解しないから」が42.3%、「その場で問題行動をすぐにやめさせるため」が36.0%となっており、これまでの調査同様、他の項目と比べて高くなっている。

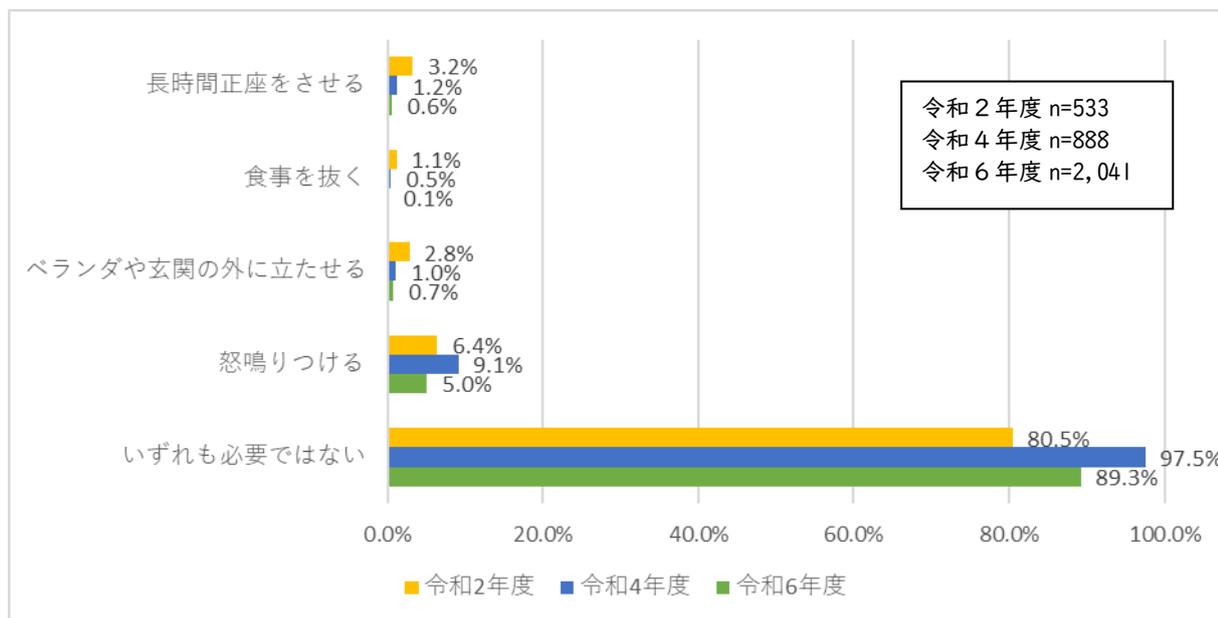


【その他自由記載(抜粋)】

- ・本来なら叩く必要はないが、感情が抑えられない為に出してしまうのだと思う(40代女性)
- ・どうしていけないのか理解させないと意味がないのはわかっているが、緊急時は反射的にやめさせるためにやむを得ないこともある(60代女性)
- ・人に対して暴力をふるうと同じ痛みがある事を教えるため(50代女性)
- ・子供の年齢や、障害の有無によるが、今の私の子育てスキルでは、ゲンコツくれてやるくらいしかできないので(30代男性)
- ・基本的には不要と考えているが万が一自分や他人に与えた痛みが理解できない場合はやむを得ない(30代女性)
- ・悪いことをすることに対する痛みを知るべき時もあると思う(40代女性)
- ・躰のために子供を叩くと言うのはあり得ないと思っています(30代女性)
- ・自分自身が親にそうされてきた(20代女性)
- ・命に関わる危険行動など、叩かれたというショックとともに重要性を理解させるべき場面もあると思うから(30代男性)

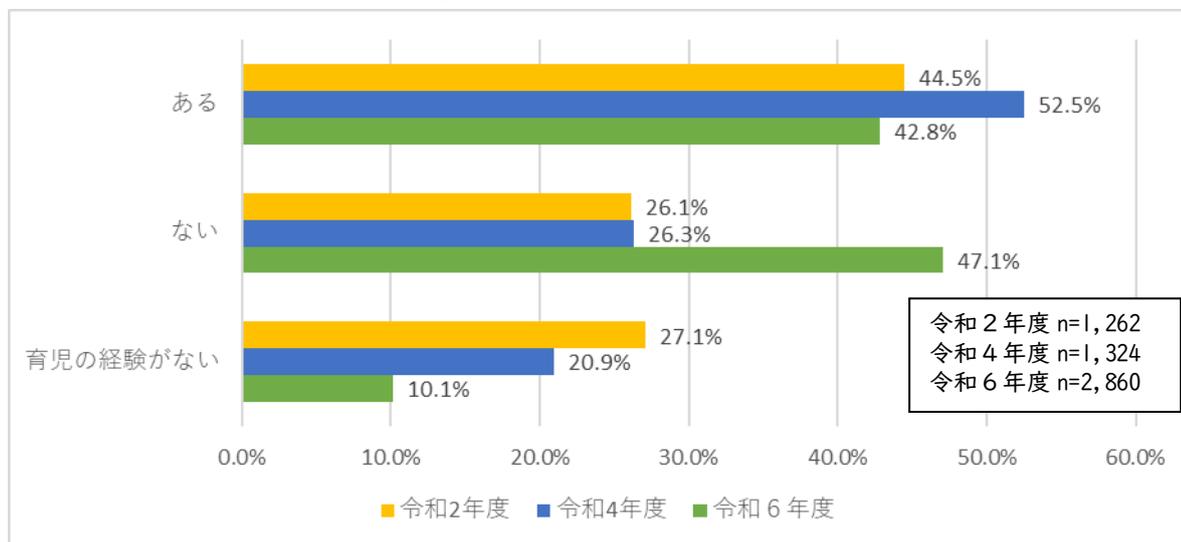
質問4 質問2でオと回答した方にお聞きます。注意しても言うことを聞かない子どもに対して、しつけのために、必要だと思う行為は、次のうちどれですか。(複数選択可)

ほぼすべての項目が減少、または同様の低い割合を示し、「いずれも必要ではない」と回答した人が約9割の結果であった。



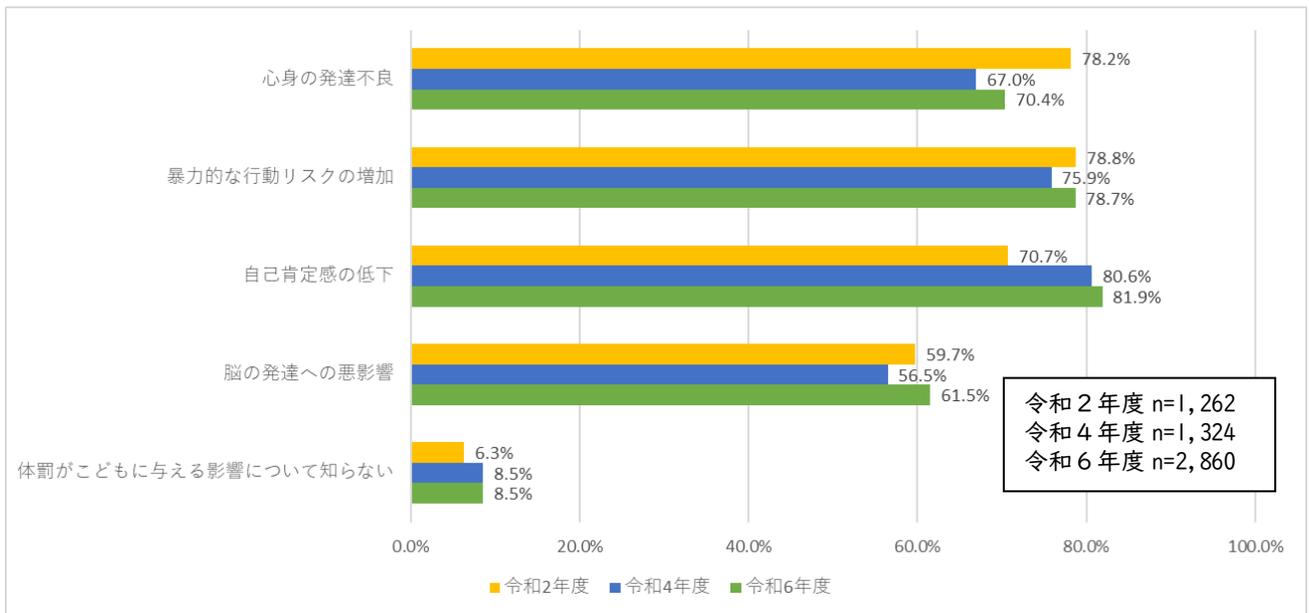
質問5 育児をしているなかで、子どもをたたいたことがありますか。(単一選択)

令和4年度と比較すると、令和6年度ではたたいたことがない人の割合が約20ポイント増加し、約半数が育児で子どもをたたいたことがないと回答していた。



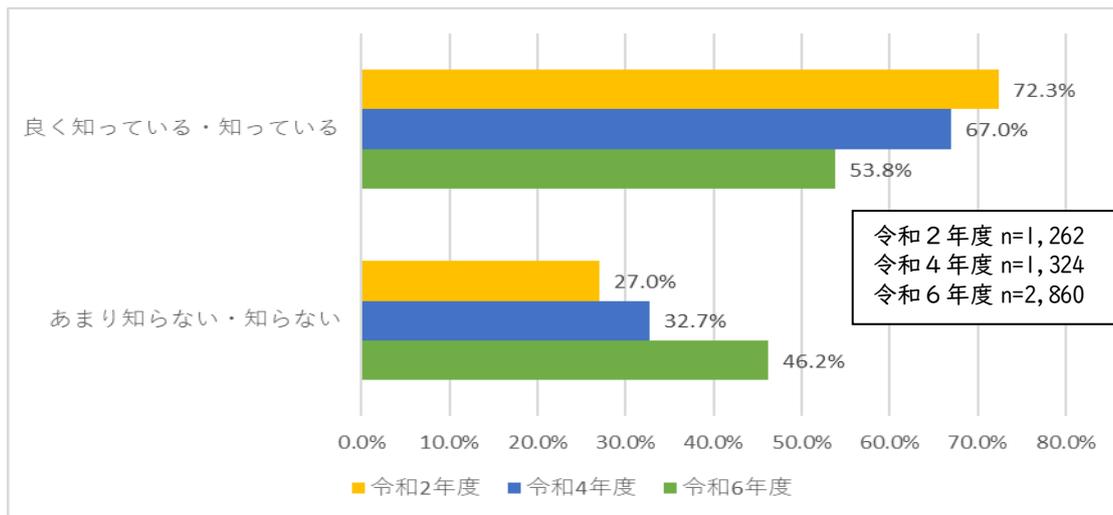
質問6 体罰が子どもに与える影響について、次の中で知っていることはありますか。(複数選択可)

令和4年度と比較すると、知っていると答えた割合はいずれの項目も数ポイント増加していた。



質問7 「体罰の禁止」が法律に定められたことを知っていますか。(単一選択)

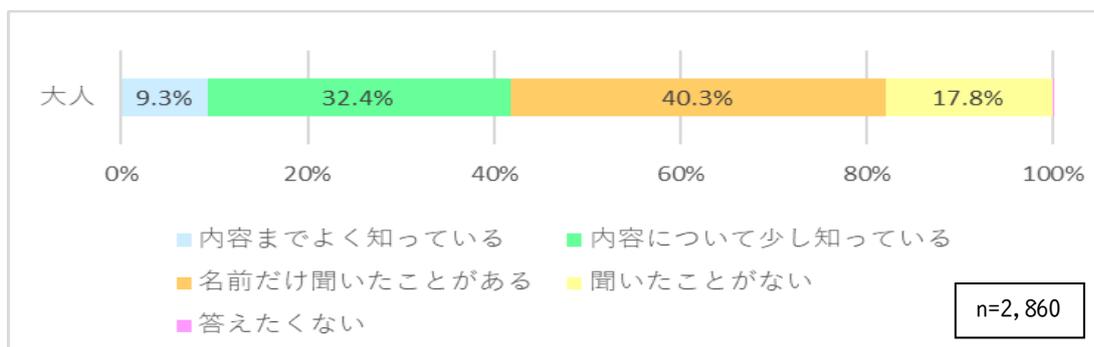
これまでの調査と比較すると、「知っている」の割合が減少し、「知らない」の割合が増加している。



質問8 「子どもの権利」について知っていますか

「内容まで知っている」「内容について少し知っている」と回答した方の合計は41.7%であり、「名前だけ聞いたことがある」も合わせると約8割の方が聞いたことがある、知っていると回答している。一方で、17.8%が「聞いたことがない」と回答していた。

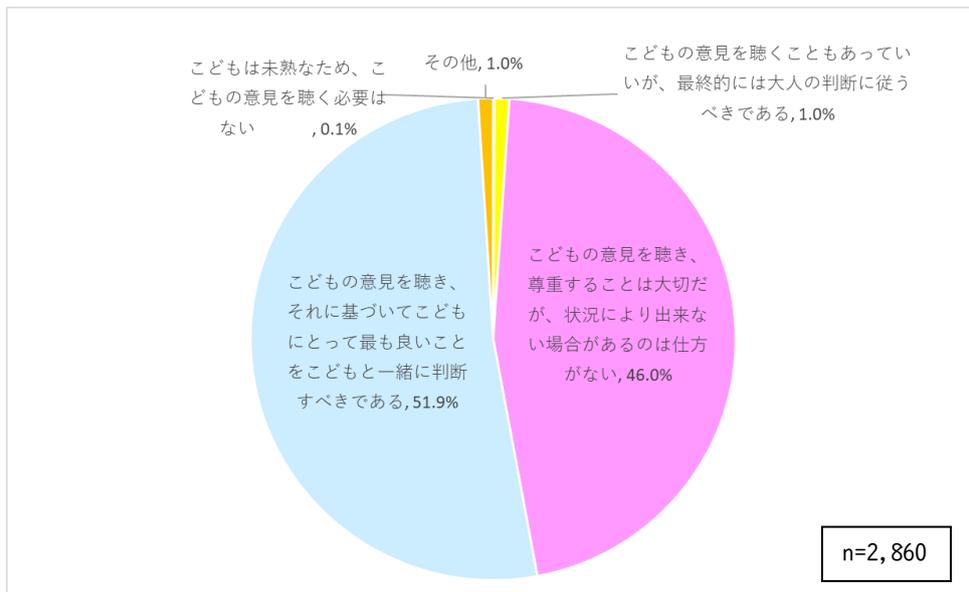
【参考】セーブ・ザ・チルドレンの2021年の調査では、「内容までよく知っている」「内容について少し知っている」いう回答者は28.6%で、「名前だけ聞いたことがある」も合わせると68.2%であった。一方で、31.8%が「聞いたことがない」と回答している。



質問9 こどもの意見を聴くことについてどのように考えますか

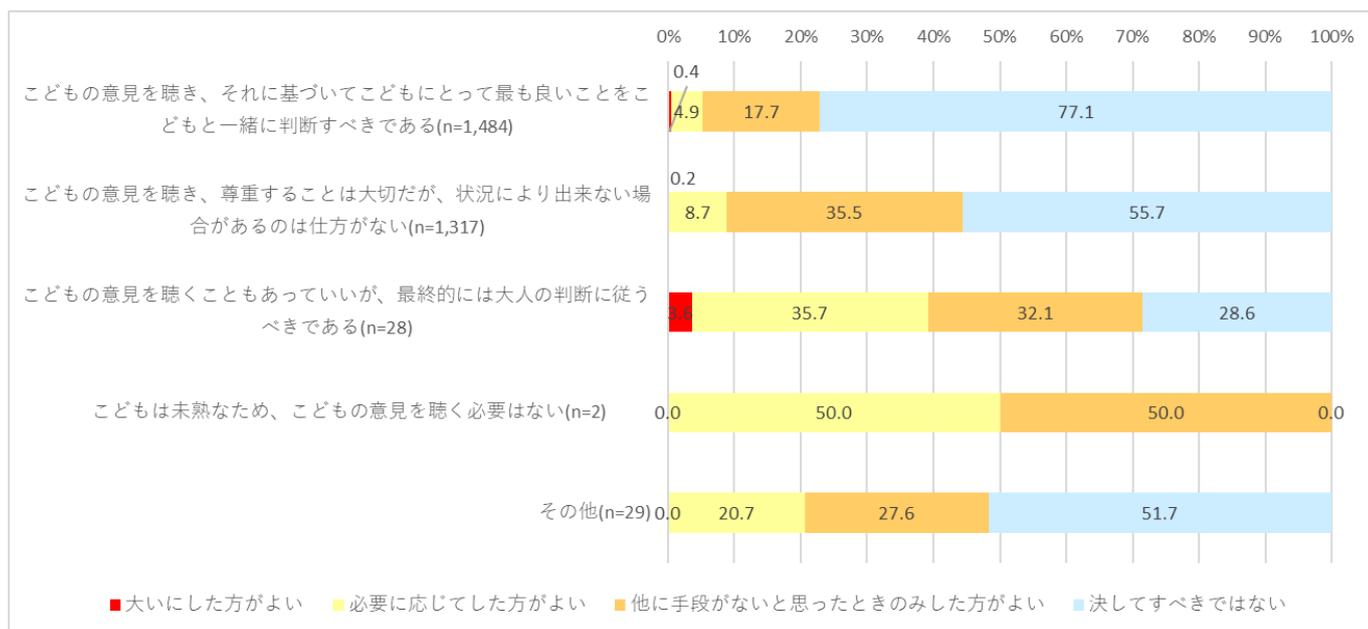
「こどもの意見を聴き、尊重することは大切だが、状況により出来ない場合があるのは仕方がない」が 46.0%、「こどもの意見を聴き、それに基づいてこどもにとって最も良いことをこどもと一緒に判断すべきである」が 51.9% となり、その他の回答は 1%以下であった。

【参考】セーブ・ザ・チルドレンの2021年の調査では、「こどもの意見を聴き、尊重することは大切だが、状況により出来ない場合があるのは仕方がない」が40.5%、「こどもの意見を聴き、それに基づいて子どもにとって最も良いことを子どもと一緒に判断すべきである」が47.3%であった。



【こどもの意見をきくことに対する意識と体罰容認度との関連性】

「意見をきき一緒に判断する」と回答した方は、体罰を「決してすべてきでない」と回答した割合が77.1%と高かった。一方で、「大切だが状況によってできない」は 55.7%、「大人の判断に従うべき」は 28.6%、「こどもの意見をきく必要はない」は0%と、体罰を容認しない割合が低くなっていた。



(2) こども向け

回答者は6,427人で、男性 3,116人、女性 3,039人、答えたくない・無回答が272人だった。学年別では小学4年生が一番多く2,072人で、小学生が8割以上であった。

こどもの権利の認知度については、6割が知っていると回答しており、自分の意見を身近な大人にきいてもらっていると思うかについては、約8割がきいてもらっていると回答していた。

体罰等の意識については、「にらみつける」と「怒鳴りつける」を容認することの割合はそれぞれ 27.9%、44.1%であった。

ア 回答者:6,427人

学年別・性別の回答者数/回答率

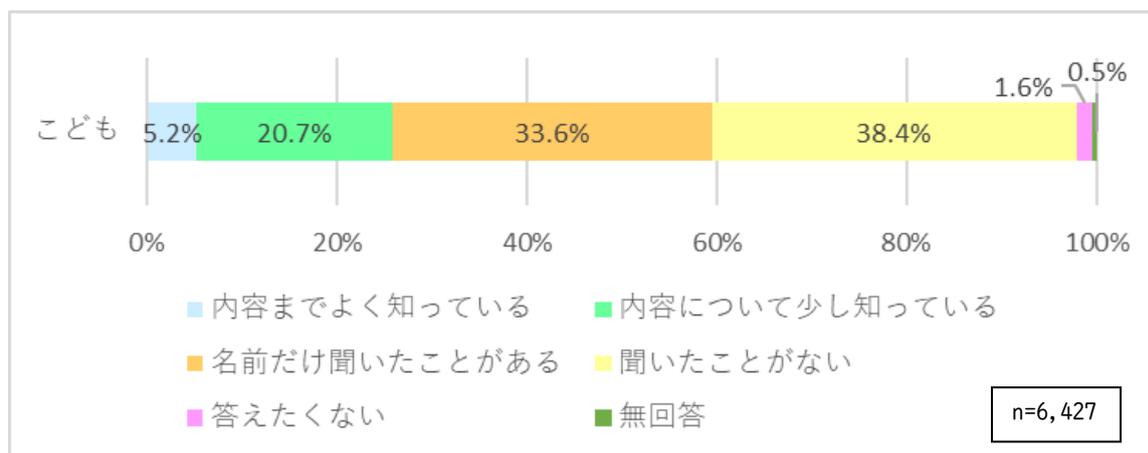
	小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生	無回答	計
男性	1,017 (32.6%)	897 (28.8%)	746 (23.9%)	93 (3.0%)	247 (7.9%)	102 (3.3%)	14 (0.4%)	3,116 (100.0%)
女性	954 (31.4%)	886 (29.2%)	777 (25.6%)	87 (2.9%)	222 (7.3%)	102 (3.4%)	11 (0.4%)	3,039 (100.0%)
答えたくない・無回答	101 (37.1%)	66 (24.3%)	52 (19.1%)	7 (2.6%)	16 (5.9%)	6 (2.2%)	24 (8.8%)	272 (100.0%)
計	2,072 (32.2%)	1,849 (28.8%)	1,575 (24.5%)	187 (2.9%)	485 (7.5%)	210 (3.3%)	49 (0.8%)	6,427 (100.0%)

イ 各質問の調査結果

質問1 「こどもの権利」を知っていますか。

「内容までよく知っている」「内容について少し知っている」と回答したこどもの合計は 25.9%となり、「名前だけ聞いたことがある」も合わせると、約6割のこどもが聞いたことがある、知っていると回答していた。「聞いたことがない」と回答したこどもは 38.4%であった。

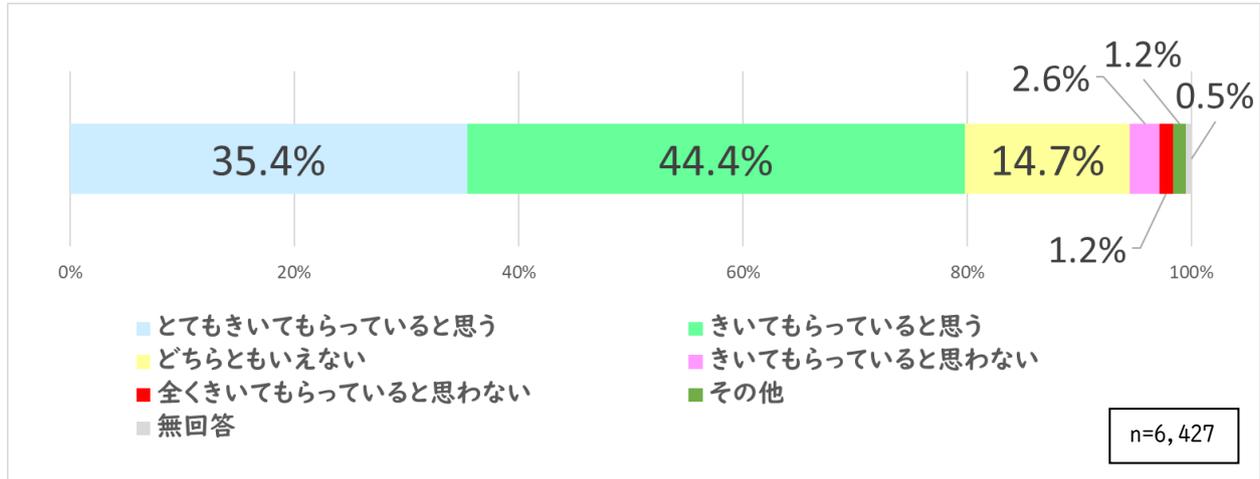
【参考】セーブ・ザ・チルドレンの2021年の調査(対象:全国の小1~17歳以下のこども344人)では、「内容までよく知っている」「内容について少し知っている」と回答したこどもの合計は39.6%で、「名前だけ聞いたことがある」も合わせると64.0%であった。また、聞いたことがないと答えたこどもは35.2%であった。



質問2 自分の意見を、お父さん、お母さん、先生など、身近な大人にきいてもらっていると思いますか。

「とてもきいてもらっていると思う」と回答した方は 35.4%、「きいてもらっていると思う」は44.4%となり、79.8%が身近な大人に自分の意見をきいてもらっていると思うと回答している。一方で、「きいてもらっていると思わない」「全くきいてもらっていると思わない」と回答したことも3.8%いることが分かった。

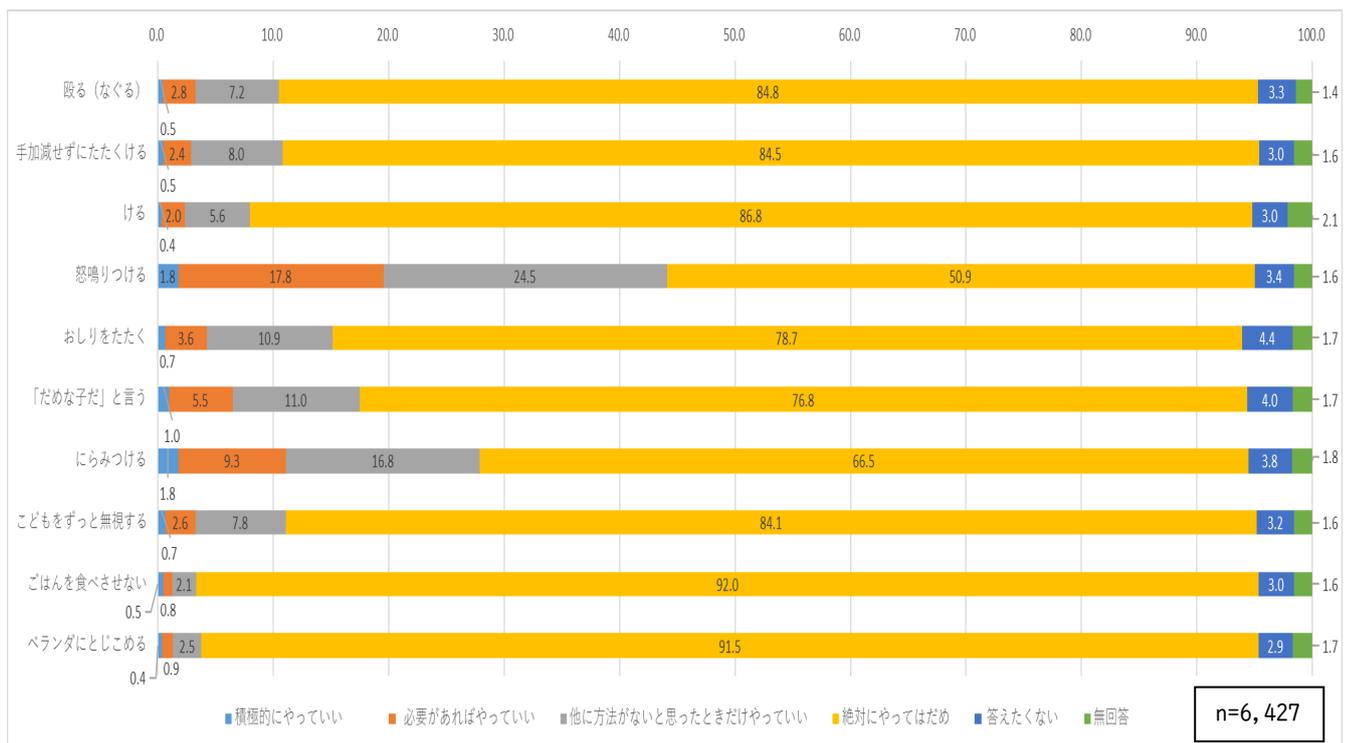
【参考】セーブ・ザ・チルドレンの2021年の調査では、「とてもきいてもらっていると思う」31.7%、「聞いてもらっていると思う」46.8%は合わせて78.5%、「聞いてもらっていると思わない」5.2%、「まったく聞いてもらっていると思わない」1.7%は合わせて6.9%であった。



質問3 しつけのために、おうちの大人の方が、こどもに次のようなことをすることについて、どのように考えますか。

ほとんどの項目に「絶対にやってはだめ」と回答した方が多かったが、「にらみつける」は66.5%、「怒鳴りつける」は50.9%と他の項目に比べ低く、「積極的にやっていい」「必要があればやっていい」「ほかに方法がないと思った時だけやっていい」の合計は、「にらみつける」は 27.9%、「怒鳴りつける」は 44.1%であった。

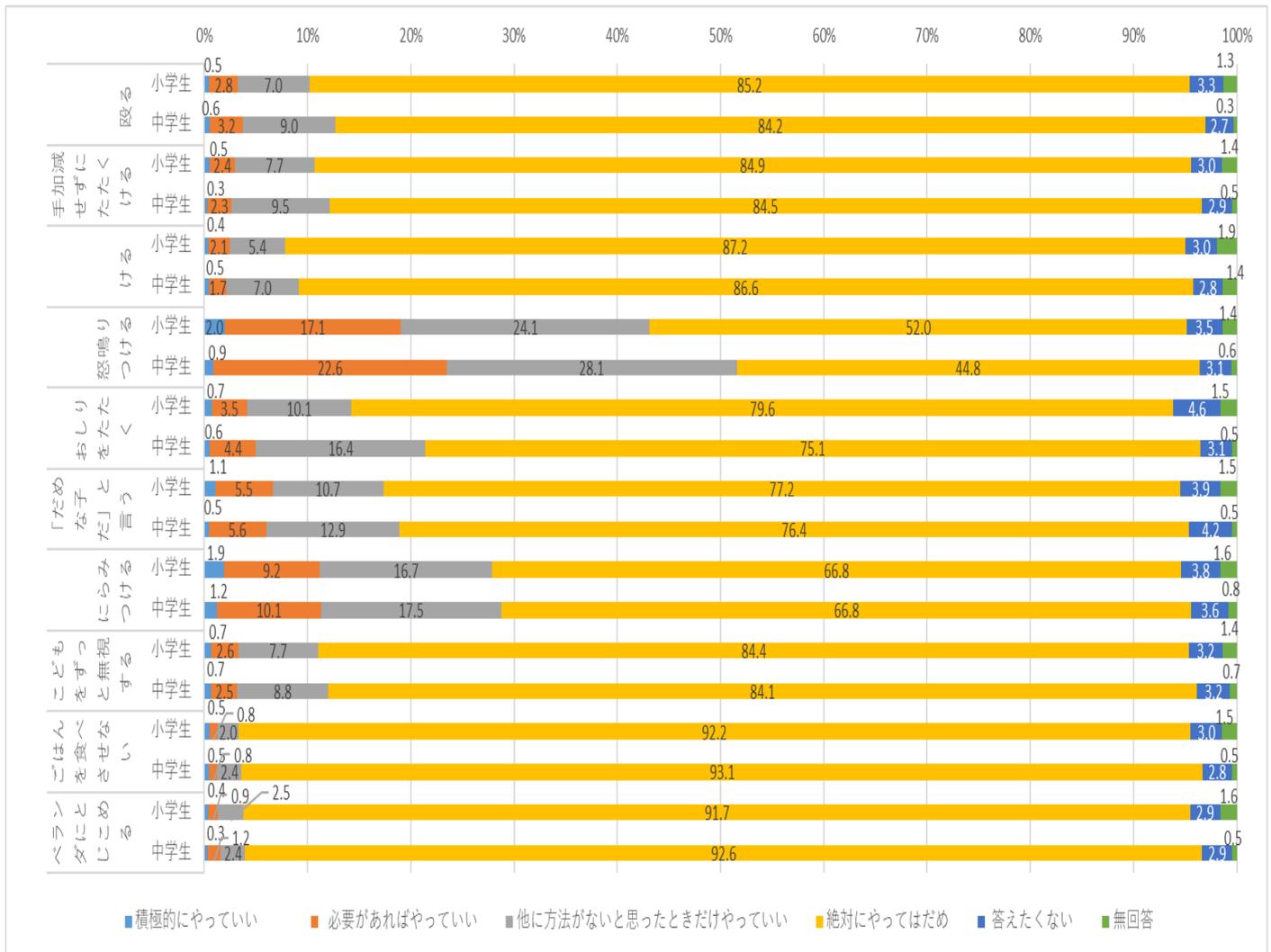
【参考】セーブ・ザ・チルドレンの2021年の調査では、「にらみつける」を容認するこどもは28.6%「怒鳴りつける」は48.0%との結果であった。



【小中学生比較】

小学生と中学生で「積極的にやっていい」「必要があればやっていい」「ほかに方法がないと思った時だけやっていい」の合計を比較すると、「怒鳴りつける」は、小学生は43.2%で中学生は51.6%、「殴る」の合計は小学生10.3%で中学生は12.8%、「おしりをたたく」は小学生14.3%で中学生は21.4%であった。小学生より中学生の方が体罰等を容認する割合がやや多くなっていることが分かった。

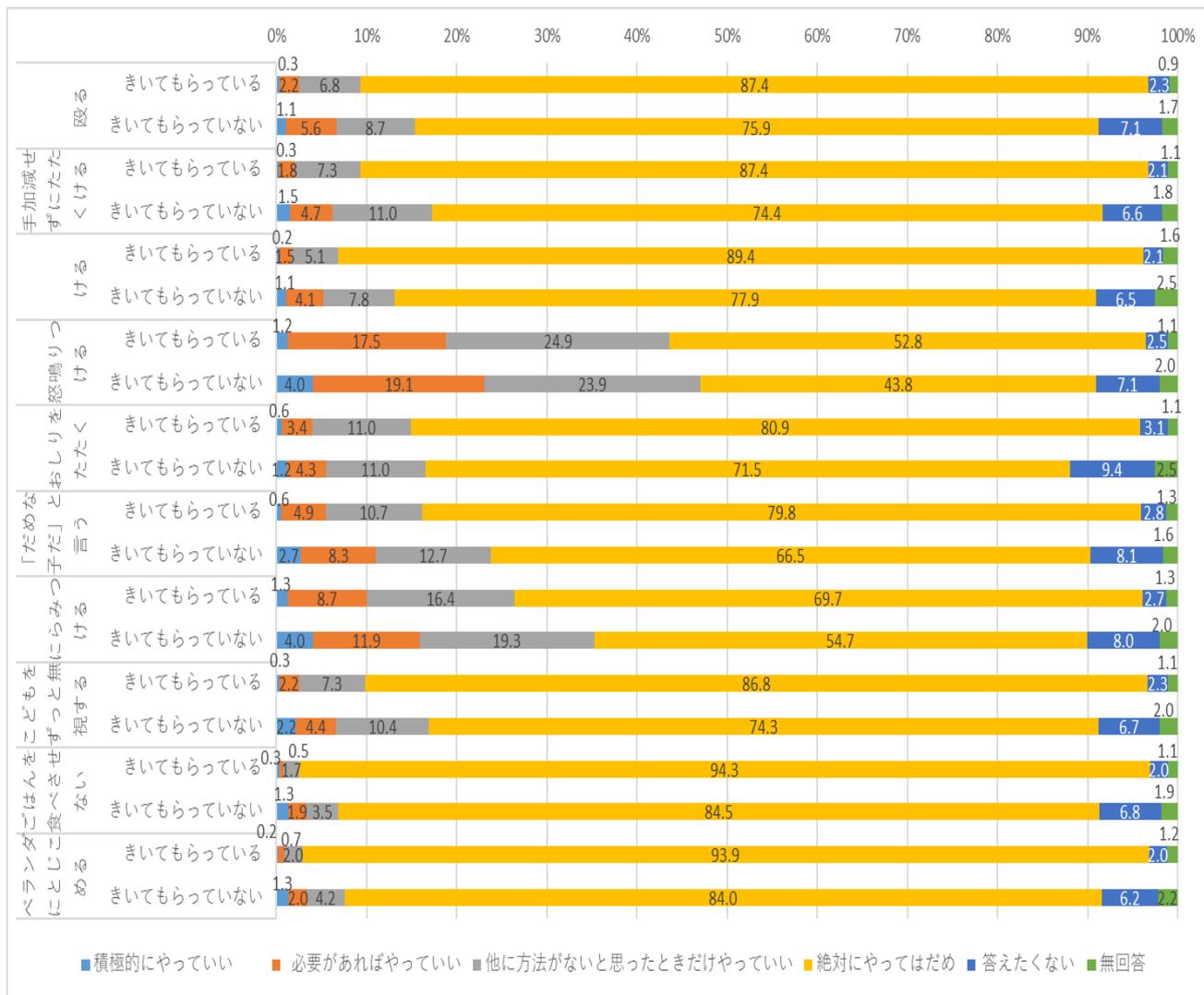
【参考】セーブ・ザ・チルドレンの2021年の調査では、「殴る」「お尻をたたく」「怒鳴りつける」を容認することの割合は、年齢が上がるにつれて(6~9歳、10~13歳、14~17歳)高くなったことが示されており、今回の調査も類似する結果となった。



小学生 n=5,946
中学生 n=882

【身近な大人から意見をきくことについての意識と体罰等の容認度について】

質問2で「とてもきいてもらっていると思う」、「きいてもらっていると思う」と答えた群(前者)と、「どちらともいえない」「きいてもらっていると思わない」「まったくきいてもらっているとおもわない」と答えた群(後者)に分け、体罰の容認度を比較したところ、すべての項目において後者が体罰等を容認する割合が多くなっていた。特に「手加減せずにくける」は前者が9.4%、後者が17.2%、「ける」は前者が6.8%、後者が13%と2倍前後となっており、その他、「怒鳴りつける」は前者が43.6%、後者が47.0%、「にらみつける」は前者が26.4%、後者が35.2%であった。



とてもきいてもらっていると思う・きいてもらっている n=5,130
 どちらでもない・きいてもらっていると思わない・まったくきいてもらっていると思わない n=1,186

自由記載欄抜粋

【大人向け調査から】

性別	年齢	横浜市の児童虐待防止施策へのご意見等ございましたらお聞かせください。
女性	50代	虐待という言葉ばかりが広がっていて、少し泣かしているだけでも、虐待を疑われるのではないかとビクビクしている親は多い。親もものびのび子育てができ、苦しい時は苦しいと親が声を出せる社会になってほしい。親がニコニコして幸せなら、その子も幸せ。親を嫌いな子はいない。親が思っている以上に子は親が大好き。親が苦しめない子育て社会になってほしい。
女性	30代	子どもを叩きたくて、叩く人は少ないんじゃないかな…子育てのやり方が分からない、相談先しにくい。などの理由で叩いてしまう人が多いんじゃないかな…。悩む親、叩かれる子どもが減るといいな。私も叩いたり、怒鳴ったりしなくなるといいな。そう思います。
女性	40代	親になる前に子どもへの有効的な声掛けの仕方、関わり方等、子どもについて知る機会があると良いと思います。
女性	40代	色々な角度から発信して、子育てのアドバイスやヒントを広げて欲しい
女性	40代	知らないので広報活動をしてください。学校を通してすぐーでPTAに配信するなど。
女性	40代	全てがそうではないですが、発達障がいなど、言葉で通じない子どもや意志疎通が難しい場合に、イライラして手を出してしまうケースが多いと思います。親が自分の子どもが他の子とちよっと違うと気付きやすくすることも必要です。また、気付かない場合、自分の育て方が悪いと思ってしまうたり、もっと厳しくしつけないと、と思ってしまう場合があります。
女性	40代	体罰は必要なく、子供の心身に大きな傷を残す恐れがある行為だと思います。 しかし、今の厳しい社会情勢や環境下で子育てに悩み、精神的に追い詰められ、助けを求めることもできず、悩み、苦しんでいる親たちが多く、そのはけ口として子供たちが虐待され更なる苦しみを生み出しているという事実は、筆舌に尽くしがたいほど悲しいことです。 もっと大人も子ども助けを求めることへのハードルを下げられるように努めて欲しいです。
男性	50代	子供時代、親に虐待されてきました。学校教育や市の広報などで親からの暴力は不必要さと、相談できる窓口の存在がもっと周知されればと切に願います。
女性	40代	虐待につながるストレスを抱えて一人苦しんでいるお母さんやお父さんの辛さを受け止め、アドバイスするのではなく、気持ちに寄り添って、一緒に子育てを共有する相手を持つようにすることも大切だと感じています。虐待をしてしまうかもしれない危うさは全員が持っています。子育ては文字で書き表せるほど安直ではありません。人に言えない苦しみを分かち合うサポートを行政側も模索し続けていただきたいと切に願っています。
女性	40代	児童虐待防止とこどもの権利をもっと頻回に目立つようにキャンペーンし続けた方がいいと思う。こどもの権利と体罰の禁止が法律で決められていることがもっと知れ渡れば、しつけと称して虐待されることが無くなるかなと思う。かなしい思いをすることもこれ以上増やさないことが大人の役目だと思うし、追い詰められた親の支援が何より必要だと思う。こどもの権利が広がれば子育てしやすい世界につながると思う。
男性	30代	子どもの権利や体罰禁止について、ここ数年で広まってきていると感じます。やはり法律や条例で明文化することは大切なのだとあらためて認識しました。

女性	40代	啓蒙活動もっと頑張ってください。 もっと講座などをひらいて、ゲートキーパーのような人を増やすといいと思います。
女性	30代	いけないとわかっていても、ついイライラして机を叩いてしまったり、子供に「バカ」と言ってしまうことがあります。アンガーマネジメントを日常的に行えるような支援（研修の開催やコーチング、お悩み相談の場など）がほしいです。
男性	40代	体罰はあってはいけないと理解していますが、どこまでこどもの判断能力、行動を信じてあげられるか。痛みとともに反省の記憶にとどめる事も少なからずあるのでは。必要悪な部分もあるのではと感じている。
女性	20代	初めての育児の中でイヤイヤ期の対応など、どう対応していいか分からなかったり、一生懸命作った離乳食やご飯を投げられてしまって悲しくなったり怒ったりすることもあると思います。そういう時の現実に対応法事例があるといいのではないかと思います。子育てをしてるとHPや動画をみる時間がないので、紙でわかりやすくまとまっていて、例えば壁に貼っておいて冷静じゃないなと感じた時や困った時に見られるようなものがあるといいなと思います。
男性	30代	親が孤立しないための仕組みや地域のはたらきかけが大切だと思います。
女性	40代	子どもが言うことを聞かないときの対応や大人の気持ちのケア方法を教えて欲しい。
女性	30代	健診の時に子どもへの接し方講座とか開講して参加を必須にしてほしい。親が学ぶ場を強制的に設けてほしい。自発的には厳しい。
女性	30代	私が子どもの時は親に叩かれるのが当たり前前の時代でした。体罰も普通にあったと思います。急に体罰はいけないと言われても、叩かれて育った子どもは親になったら子どもを叩きたくなくても叩いてしまいます。私は今では我慢できるようになりましたが、悩みました。 私たちの親世代は躰としてやったことだからと開き直って謝りもしない。それによって子どもが親になってから苦しんでも責任を取りもしない。それって理不尽じゃないですか？ 私は子どもを叩きたくないけれど、叩いてしまったことで将来私と同じように我が子が苦しむかと思うと自分が許せないです。
女性	30代	本当に言っても聞かない子に対し、では体罰なしにどうしつければいいのか具体策を明示したり個別に対応してくれないと体罰は根絶できないと思います。
女性	30代	子どもの問題行動に対する対処の仕方や子どもとの関わりかたを怒る以外の効果的な具体例を教えてほしい。手がかかるのは定型発達の子だけではないので、親の言うことを聞けない点で見れば発達障害や軽度の知的障害の子の親の方が大変だと思うので手厚いサポートが必要と思います。危ないことをしない、出来ない状況にすることによって怒らない、叩かないでいられるという効果もあるのに簡単には出来ない。どうしたら怒らない、叩かないでいられるようになるのか教えてほしいです。
女性	40代	子どもを育ててみて感じたことは、親側の精神状態によっては「大人でも、わかっていても止められないことがある」と言うことです。サポートが必要なのは、子どもだけではなく、親の方もだと感じます。虐待は「特別な環境にある、特殊な親」がするのではなく、ごく普通の真面目な親の家庭でも起こりうるのではないかと感じています。親が自分自身を受容して心に余裕をもてるスキルを付けることが出来れば、虐待は自然と減っていくのではないかと思います。虐待をなくすために社会において必要なことは、スキルを学べる場や、きっかけだと思います。

女性	30代	どうということが体罰に当たるのか、また、困った問題行動の時に体罰では無くどのような対応をすると良いのか、相談窓口などをもっと広く知らせるべきだと思います。
女性	60代	児童虐待についての講演会やイベントが実施されるとよい 世代間で虐待の基準が違うことがある 適切な子どもへのしつけや声の掛け方を具体的に啓発し広めてほしい
女性	30代	もし虐待を通報したら報復されるのではないかと怖くて、通報できないときがある。虐待する大人は、見境なく女子供に暴力をふるうし、傷害だけではすまされないかもしれない。通報者の安全は守られるのか？それを徹底してほしいし、広報してほしい。
女性	50代	体罰をすることをやむを得ないことと思っている親は、自分の子どもを親の所有物だと思っている傾向にある。子どもを1人の人間であることを理解してほしい。
女性	30代	体罰は良くないとは思いますが、しつけに悩むことも多いので、子どもとの関わり方について学ぶ機会が欲しい。セミナーなど平日開催が多く、働いているとなかなか受講ができない。
女性	30代	子どもが自分の意思をもった、親とは別の人格で、大人が困るような言動にも理由があること、思い通りにならなくて当然だと知っていることは重要だと感じている。育児をして初めて知ること戸惑うことも多く、多くの人が専門的知識なしに保護者をしているのってすごいなど。そうした意識、啓発的なアプローチだけでなく、心身や経済面で余裕がないために正常な判断ができず起きてしまうこともあると思うので、その部分へのサポートが欠かせないと思う。
女性	30代	体罰の代替方法としてペアレントトレーニングの講座を増やしたり、健診でペアレントトレーニングについて知らせたりなどすると良いと思う。
女性	30代	しつけと思って叩く事はありません。叩いてしまうのは、怒りが抑えられなくてカッとなった時です。そのため、暴力は私自身のアンガーマネジメントの問題と理解しています。両親学級場やオンラインでのアンガーマネジメント講習をしてほしいです。
女性	40代	軽度の体罰はやむを得ないと手を上げる保護者は想像以上に多くいます。昭和の子育ての踏襲だったり、他にどうすればよいのか分からなかったり、また、親のアンガーマネジメント力不足からのものが多いと、見ていて思います。通報することへの抵抗感やハードルが多く、不適切な子育てであることを他者が指摘することも難しいのが現状です。子どもに手を上げる保護者の情報を手軽に報告でき、いきなり逮捕や保護などではなく、どのように接すればよいのかのセミナーなどに繋げる仕組みがあったらいいなと思っています。また、子どもにも「叩かれていることが虐待である」ことを知らせて欲しいです。子供たちは自分の家庭しか知りません。されていることが当たり前だと抱え込み、誰にも相談できずにいます。助けてと声をあげていいということ、声をあげてもお母さんやお父さんを失わないから大丈夫だということを、伝えてあげられる仕組みが欲しいです。(元被虐待児より)
女性	30代	なんでもかんでも虐待だ!暴力だ!と問題にされるのはよくないと思う。手をあげることを一切禁止にしたら、今の世の中の子どもはまともな大人になれないと思う。なので、ある程度は親の判断が必要。

女性	40代	<p>子供を叩いても問題は解決しない、叩くことの悪影響については理解しているつもりですが、仕事と育児の両立が上手くいかず、先日、強めにお尻を叩いてしまいました。また子供のイヤイヤが続き我慢できず、大きな声で怒ってしまうこともあります。いずれも良くないことだと覆い、はっとして反省しましたが、また同じことをしてしまいそうでとても心配です。日々、親自身がいっぱいいっぱい余裕がありません。親が児童虐待に向かわないようにするための、心の余裕を持てるような施策を考えていただきたいです。</p>
女性	40代	<p>街中で見かけたとき、とるべき方法を教えてほしい</p>
女性	30代	<p>体罰が教育的にも意味がなく、悪影響のみがあることは広くいろいろな研究から明らかになっています。しかし、まだ一般知らない人が多いので市や国としてその事実を啓蒙し、体罰撲滅に努めて欲しいです。</p> <p>また、体罰以外の方法での子供への伝え方、対話の仕方も一緒に啓蒙してください。</p>
女性	40代	<p>図書館やフォーラムにチラシやコーナーがあったり、学校からの子供へ教育がある、というアプローチは良い取り組みだと思います。</p> <p>親側へのアプローチは、チラシやポスター程度しか見かけたことがないので、切実な人には届かない気がします。もっと様々な方法を考えた方がいいと思います。</p>
女性	30代	<p>虐待がゼロになるよう、私たち市民も協力したい。</p>
女性	40代	<p>4歳と1歳の母です。子供(特に乳児)は泣くものなのに、泣いているときに泣き止ませられないと「育児放棄か?」「虐待か?」とみられるのがつらいです。虐待防止は当然必要ですが、過度に親(特に母親)の責任にならないように施策を進めていただければと思います。なんでもかんでも虐待と結びつけないでほしいです。</p>
女性	20代	<p>私自身小さい頃はしつけとして叩く時代だったが、今の時代はそのしつけの仕方虐待になる時代になっている。自身は育てられたように手を出さずような教育はしないと決めています。いざ旦那に子どもを見てもらう時があった場合、旦那側が手を出しそうで…女と男の考えの違いがあり、まだまだ男性が育児に積極的ではない時代なので、お母さんが気を付けていても虐待事件が増えそう。苛立ちで手を出してしまい気づいたら殺したパターンがあると思うので、優先的にパパにフォローが義務付けさせることにより、育児面でも悩みがなくなると思う</p>
女性	20代	<p>虐待(体罰等)をしてはいけないと頭では分かっている、ワンオペ育児等で気持ちや時間の余裕がないと一線を越えてしまうことがあると思います。もっと身近に(近所等)子育ての状況を知ってもらえるは何かが必要に感じます。例えば、赤ちゃん訪問は最初しかないが、子どもがある程度大きくなるまで訪問をするなど。核家族化が進んでいくなかで、地域の支援はとも必要だと感じます。それにより虐待ももっと防げるように感じます。</p>
女性	40代	<p>情報共有ができたとしても、各家庭内への介入権限を持つ組織(児相や警察など)の人員増がないと対応しきれないと思うので増やしてほしい</p> <p>体罰や虐待はいけないことなのだと、子供にももっと広く伝えてほしい</p>
男性	30代	<p>虐待が防止されれば良しではなく本来的には子ども一人一人の権利・尊厳が守られることが本質的に重要なことだと考えています。条例名が「横浜市子供を虐待から守る条例」とあるためそもそも難しいのかもしれませんが、第3条に盛り込まれたようなより子どもの権利・尊厳に踏み込んだ内容になると望ましいと感じます。行政として具体的なガイドライン等に落とし込む難しさなどが恐らくあるのだろうと推察しますが、市民一人ひとりにとって対話の入</p>

		<p>口となるような条例となることを期待します。</p> <p>最後に、正解のない課題・領域に向き合っていただき、ありがとうございます。</p>
--	--	--

【こども向け調査から】

性別	学年	体罰やこどもの権利について、ご意見があれば教えてください
男	小6	大人の人でも子供の権利や虐待についての法律などを知らない人がいると思うのでこのような法律があるとしっかり公表した方がいいと思う。(どこまでが子供の権利を傷つけているかがわからない可能性があるから)
男	小6	子供が暴れたりどうしようもない時は生命や後遺症トラウマにならない程度のことなら仕方ないと思う。
男	中2	時には子どもの成長のためならば、親が嫌われ役をかってしつけることがあってもいいと思う。
男	中2	無理な可能性だけど幼い子ども自身が意見を言える場を作る
女	中2	子どもが本当に悪いことをしたときならしょうがない
男	中2	お父さんが怒ったときにされるからやめてほしい
男	小4	体罰については、やってはいけないことだと思っています。理由は大人の勝手に子供に負担や権利を奪う可能性があるからです。権利については絶対に必要だと思います。理由は、子供にはしっかりとした教育などが必要だと法律に書かれているし、自分でも思うからです。
女	小6	体罰を受けると心も体も健康でなくなってしまうと思う。仕方がないからやっていいではなく、暴力をふるわないような方法を考えると良いと思った。
女	小6	意見というか感想というか・・・ 全国の子供が体に対する罰や心に対する罰を受けないようにこれからも頑張ってもらいたいと思います。(応援しています!!)
男	小5	子供も大人と同じ権利があると思う。
女	小6	体罰は良くないと思うが、親も人間。どうしても我慢できない時がきつとある。。
女	小4	体罰は昭和の時代によくされていたので親世代の人たちが「体罰は当たり前」と思っているのではないのでしょうか。体罰のことを広めたいのなら「今の時代は体罰は犯罪です」などのことを呼びかけたら良いのではないのでしょうか
男	中1	子供を理不尽に体罰や死に追い詰める行為は絶対にあってはならない。 それを一番知っているのは大人だ。
女	小5	私はやられたことがないからわからないけれど、普段からされている子はわからないと思う。
答えた くない	中2	大人たちがすぐにやられている子を見つけられるたいせいにしてほしい

女	小5	最近小さい子供が親からの体罰や虐待を受けていると、テレビで見た事があって、その虐待が少しでも無くなって、子供の未来が明るくなれば良いなどと思いました。
女	小6	このことを子どもだけではなく親世代にもしっかり教えてあげてほしい
女	小6	体罰はどんなことでも絶対にやってはいけません。 また、体罰をやってしまうと体罰をされたその子供も自分の子供にやってしまうと思う。
男	中2	親が育ってきた環境を子どもに押し付けないでほしい
男	中2	躰は大事だけど体罰以外の方法もあるから体罰はしないでほしい
男	小4	・子供はまだ未成年で、両親に叩かれたり、嫌なことを言われると心が苦しくなるから、嫌なことがあったら、一人で抱え込まずに、信頼できる大人などに相談する ・子供が安心して、家や学校で生活できるように、全ての人が叩いたり、暴言を言わないなどの当たり前を当たり前にするのが大切だと思います。
男	小5	子供の心を苦しめ続けたりご飯を与えないなどはダメだが叩いたりするのはそれ以外どうしようもなかった場合はいいと思う
男	小4	子供の意見などを無視するのは絶対にしてはいけない事 子供が発言する自信がなくなってしまうから
答えた くない	小6	ちゃんとした大人になるために最低限の体罰必要だと思う。
男	小6	こどもの権利をもっとみんなが知れるような活動を積極的に行ってほしい。
男	小6	子供の権利をもっとたくさんの人に知ってほしい。
男	小6	悪いことを聞かない子供は聞かないなら叩いてもいいと思う
男	小6	みんな平等 子供=人 大人=人 人=人
男	小6	体罰や子供の権利についてもっと知れたら良いです。自分でも調べてみます。
女	小5	体罰はいけないと思うけど叱る時などは仕方ないと思ってしまう。
女	小6	私も受けたことがある(今も)けどすごく辛かったです。
男	小6	こどもにとってどこまでが権利か認識が違うので学校教育に取り入れ、もっと子供全体に広めるべきべきだと思う
答えた くない	小6	体罰=虐待 虐待する大人は実は気づいていないと思う。だから子供が言っても親は理解してくれない。だから虐待が続くと思う。
女	小5	子どもにも権利があるから、ちゃんと一人一人の意見を聞いて判断してほしいです。
男	中2	「こども」と「大人」を区別して言うのではなく上記のことは大人にも当てはまると思います。
女	中2	もちろん親には感謝していますが、価値観の違いで言い合いになるとき手をあげて叩かれるときが多々あり、なぜ受けなきゃいけないのかと疑問に思います。
女	中1	今はないですが昔はよくあって心も本当に苦しかったです。相談をしたら自分の思いを外に出せて気持ちが楽になりました。どんなことがあっても体や心が傷つくことは絶対にあってはいけないと思います。

男	小6	怒鳴りつけるというのも子供が悪かったから怒ってそれを直そうとこどもも思うしダメな子だと言われて自分の立場も理解することができてもうそれをしなくなると思う。だから必要性があるときはしたほうがいいと思う
女	中2	体罰をする人は子どもからやり直したほうがいいと思う
女	中3	怒鳴って怒られることは体罰なのでしょう？こどものためを思って叱っているだけなのではないでしょうか。
男	小6	子供がダメなことをしていた場合には大人が積極的に注意やちょっと加減して怒鳴るくらいなら多分大丈夫だと思うから そして、子供も自分がダメだと思ったことは特に注意を払って行動をする
女	小6年	子供の権利について考えることができました。子供の権利についてもっと知りたいと思いました。
女	小6	もっと色んなところで積極的に子供の権利や体罰について教えてほしい
女	小5	イライラしても子供はストレス発散の道具じゃないと思う
女	小4	定期的に学校の話などを聞いてその時何が合って何が辛かったかで少しでも楽にさせてあげてあげるといいと思います。
女	小6	子供だってそれぞれ“権利”を持っている《人》である。 けど、まだよくわからない子もいると思うから、大人（保護者）がその権利を守ることが義務なんじゃないかなと考えた。 暴力・時には子供を死なせる行為・子供を不安にさせる行為・その子の自己肯定感を低くする行為は絶対にやってはいけないことだと思うし、一種の『（大人から受ける）いじめ』にもなるのではないかな。
女	小5	親が怒鳴るのは子供が嘘ついたりするから仕方ない事だと思っているのですが、その辺についての詳しい説明、または解決策(?)をお願いしたいです。
男	小5	お母さんが怒ってばかり。
男	小5	子供の権利のことについて知りたいです。
男	小5	常にアンケート調査すべきです
男	小4	大人は子供に対して優しくすべきで、いじめたりするのは良くない。言い過ぎかもしれないが逮捕されても当然なことになってしまう。だから大人は子供に優しくするべきで、子供は親を尊重することでハッピー😊な生活を送れることだろう
男	小4	子供の権利についての授業時間がほしい。
女	小4	ふざけとかでおしり叩くのはしょうがないし怒鳴りつけるも限度を超えてなければいいと思います!そのほかのは育児放棄なのでやばいと思います
女	小4	いくら子どもが悪いことをしたからといっておしりを叩くことは最近体罰として禁止されているからやるのはダメだと思う。子どもがあまりにも悪いことをしたら一回ぐらいは怒鳴りつけていいと思う。
男	小5	虐待はしてはいけない。たい罰はお尻を叩くぐらいにしたほうが、良いと思う自分的には。
女	小4	わたしは、大人の子供に対しての悪い行動をやめた方がいいと思います。どうしてかという、子供は、傷つけられて成長をしていくことはできないと思ったからです。

男	小5	手加減して叩くくらいならいいと思う。
女	小6	体罰は、絶対にダメ。体の傷は治るかもだけど心の傷はずっと治らないから親からの体罰は許されてはいけないと思う。
女	小4	お母さんにたまに叩かれたり蹴られたりするけど「なんで叩くの?」と聞いても「自分がそれくらい悪いことをした」と、少し気に食わなかっただけで言われる。「嫌だ」って言ったから叩かれなくなった。
女	小5	どんな小学生すら、コンプレックスや、悩みを抱えてる子が想像より多くいると思います。ですから、子供が悩みを親に話しにくいならどこかの安心できるサイトに相談したら良いと思います。
男	小6	怒ったり注意するのは良いけどやり過ぎたり暴力等は子供を傷つけるからダメ。子供はストレス発散のおもちゃじゃない
男	小6	子供の権利が尊重され過ぎている。過保護すぎる
女	小6	国は、まだまだ体罰を受けている子をたくさん見逃しています。私も受験で怒鳴られたりして心が痛むからです。でも子供は親が大好きです。それが、子供から伝えたいことです!